

# くすのきさんに聞こう！実になるお話の会 「舞台を観ることで育つ 子どもの力」 ～人形劇の現場から～

松本市を拠点に『人形芝居燕屋』として全国的に活躍する、くすのき燕さんが下條村にやってきました。9年前、図書館の夏休み人形劇おたのしみ会で上演された腹話術『ハロー！カンクロー』と肩掛け人形芝居『ねずみのすもう』を見に来た観客数は、おたのしみ会史上最高の220人！好評につき翌年には、コスモホールにて『さんまいのおふだ』を2回上演、これも大盛況でした。そんなくすのきさんが、今回は子どもの成長に深く関わるお話をしてくれます。子どもを持つ親、子どもに関わるすべての大人に聞いていただきたいお話です。託児も設けますので、お気軽にお申し込みください。

祝日開館日です！

参加者を募集します

日時 2019年 3月21日(木) 10:30～

場所 あしたむらんど下條 会議室

講師 くすのき燕氏『人形芝居燕屋』(松本市)



“子どもが舞台を観ること”についてのお話です。  
☆成長まっさかりの子どもが、舞台芸術(お芝居・人形劇など)を見るとき、  
どんなことが心のなかで起こるの？  
☆「舞台を観ること」は子どもの成長のなかでどんな効果があるの？  
☆親子で舞台を観ることの意味は？  
☆「おはなし」(もしくはフィクション)が持つ力って？  
くすのきさんにどんどん質問して、いろいろな話を聞きましょう！



『ハロー！カンクロー』より



2009. 7. 28 図書館おたのしみ会にて

**対象：**大人ならどなたでも。(高校生可)

**参加申込：**参加したい方は、図書館まで  
お申込みください。

**託児申込：**事前にお申込みください。

下條村立図書館 TEL 0260-27-3585

## 『人形芝居燕屋』くすのき燕さんプロフィール

1961年東京生まれ。1985年、信州大学人文学部卒業。在学中に人形劇を始め、プーク人形劇アカデミーで人形劇を学ぶ。2005年『人形芝居燕屋』として演出とひとり人形芝居の公演を中心とした活動を始め。2006年、松本へ移り飯田市内の小中学校や県内の養護学校での人形劇づくりに多数参加。2009年、演出作品「シアタートライアングル」がチェコ国際人形劇フェスティバルでグランプリを受賞。☆NPO 法人日本ウニマ【国際人形劇連盟日本センター】会長。

子どもには塾やゲーム、スマホを与えておけば…。そんな現代社会において健康でたくましく育つ子どもがどんどん減っていると思いませんか？本当に子どもに必要なことは何か？一緒に考えましょう。